



特別企画展

西洋服装史Ⅱ

スタイルとディテイル

平成28年10月13日(木)→11月17日(木)

休館日=日曜・祝日、10月24日(10月23日は学園祭のため開館)



- 開催場所=東京家政大学博物館(東京家政大学内・百周年記念館5階 展示室)
- 下車駅=JR埼京線「十条駅」徒歩5分、都営三田線「新板橋駅」徒歩12分
- 開館時間=9:30~17:00 ●観覧無料



東京家政大学博物館

東京都板橋区加賀1-18-1 Tel. 03-3961-2918
<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/hakubutu/>

Style & Detail

特別企画展
西洋服装史Ⅱ
—スタイルとディテール—

平成28年10月13日(木)→11月17日(木)

本展では、「西洋服装史Ⅱ スタイルとディテール」をテーマとして、18世紀後期から20世紀初期のヨーロッパにおける女性服の変遷を、本学服装史研究所蔵の実物資料を中心に、同時代のファッション・ブックとともにご紹介します。西洋服装史における「スタイル(様式)」とは、シルエット、色彩、テクスチャー、ディテールなどの要素から成り立つ時代特有の服装の様式を意味します。約130-140年間にヨーロッパの女性服のスタイルは多様な変化を遂げました。他方、装飾や縫製などの「ディテール(細部)」に目を向けると、各時代の技術や美意識が反映されていることに気が付きます。実物資料を通じてスタイルを捉えながら、その陰でしばしば忘れられがちなディテールにも注目します。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩

- ① ローブ・ア・ラ・フランセーズ フランス 1780年頃
- ② アビ・ア・ラ・フランセーズ フランス 1780年頃
- ③ デイ・ドレス イギリス 1820年代後半
ショール オーストリア 1830年代 藤田真理子氏 蔵
- ④ イブニング・ドレス イギリス 1865年頃
- ⑤ ジャック・ドゥーセ レセプション・ドレス フランス 1890年代後半
- ⑥ マリアノ・フォルチュニィ チュニック イタリア 1910年代
マリアノ・フォルチュニィ デルフォス イタリア 1920年代 共立女子大学博物館 蔵
- ⑦ 靴 イギリスまたはフランス 1830年代
- ⑧ コルセット イギリス 1860年代後半
- ⑨ 女児用ワンピース・ドレス、ケープ イギリス 1855-1865年頃
- ⑩ 女児用ワンピース・ドレス イギリス 1880年頃

* 所蔵先の記載がないものは全て東京家政大学 服装史研究室 蔵

企画展関連イベント【すべて参加費無料・申込み不要】

① 講演会 「創られる身体、ファッションの野望」

講師：能澤 慧子 (東京家政大学 家政学部 服飾美術学科 教授)

日時：11月5日(土) 15:00～16:30 (開場 14:30) 定員 200名

会場：120周年記念館 2階 120-2C 教室 直接会場にお集まりください。

② ギャラリートーク [当館学芸員による展示品解説]

日時：10月17日(月)、28日(金)、11月9日(水) 15:00 から (40分程度)

参加方法：15時に企画展受付にお集まりください。

③ 着装体験 「クリノリン・スタイルのスカートを体験しよう」

日時：10月20日(木)、27日(木)、29日(土)、11月10日(木) 13:30～15:00

参加方法：13:30～15:00の間に企画展受付へお越しください。

※「クリノリン・スタイル」とは、19世紀のヨーロッパで流行した、スカート部分が大きく膨らんだスタイルです。

※体験用のスカートは、当館で製作した現代のものです。

※混雑時にはお待ちいただくことがあります。

《体験用スカートのイメージ》



※JR 埼京線十条駅(北口)より十条門まで徒歩5分

※十条門より博物館まで徒歩3分

※正門におまわりいただくと分かりやすいです。

